

第58回「前島密賞」受賞

(株)mmbiの大矢 智之氏、サービス&ソリューション開発部の関野 公彦氏、プロダクト部の樋口 健氏の3氏は「ISDB-Tmm マルチメディア放送方式の開発・実用化」の顕著な業績により、2013年3月15日に公益財団法人通信文化協会より第58回「前島密賞」(研究開発)を受賞しました。

前島密賞とは「通信事業の創始者「前島 密」氏の功績を記念し、情報通信及び放送の進歩発展に著しい功績のあった者に授与される」ものです。今回で第58回目となる前島密賞は、上記の3名の他に、総務省関係2件6名、日本郵政(株)関係5件5名、日本電信電話(株)関係3件6名、日本放送協会関係3件2名1団体、(一社)電気通信事業者協会関係1件2名、(一財)日本ITU協会関係1件1名、(一社)日本民間放送連盟関係1件1名に授与されました。

受賞対象となった「ISDB-Tmm マルチメディア放送方式の開発・実用化」は、地上波アナログTV放送終了後の跡地であるV-HIGH帯(207.5~222MHz)を利用したISDB-Tmm(Integrated Services Digital Broadcasting Terrestrial for mobile multimedia)方式

に関するものです。

ISDB-Tmm マルチメディア放送方式は、地デジやワンセグに用いられているISDB-Tを拡張したものであり、地デジやワンセグ放送方式との親和性を保ちながら、リアルタイム型放送だけでなく蓄積型放送としてさまざまなコンテンツを放送波伝送することを可能としている方式です。①蓄積型放送を効率よく実現するための伝送方式、②放送波と通信の両方を使ったライセンス管理方式、③SNSとの連携などの新しい通信放送融合型サービスの実現を可能とするなどの技術的特徴をもっています。

新たな通信放送連携型技術の開発および規格化を行い、新機能を取り入れた放送設備とスマートフォン端末を開発することによって、2012年4月にmmbi社により「NOTTV^{*1}」の商用放送が開始され有料視聴契約者へサービス提供していることが評価され、今回の受賞となりました。

*1 NOTTV：(株)mmbiの登録商標。

